

厚生労働省発薬食 0420 第 61 号
平成 24 年 4 月 20 日

薬事・食品衛生審議会会長
望月 正隆 殿

厚生労働大臣 小宮山 洋子

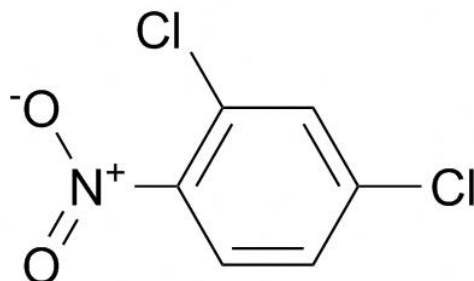
諮 問 書

下記の事項について、毒物及び劇物取締法（昭和 25 年法律第 303 号）第 23 条の 2 の規定に基づき、貴会の意見を求めます。

記

2, 4-ジクロロ-1-ニトロベンゼン及びこれを含有する製剤の毒物及び劇物取締法に基づく劇物の指定について

2, 4-ジクロロ-1-ニトロベンゼン及びこれを含有する製剤の毒物及び劇物取締法に基づく毒物又は劇物の指定について



$C_6H_3Cl_2NO_2$
CAS No. : 611-06-3

名称	(英 語 名)	2,4-Dichloro-1-nitrobenzene、2,4-Dichloronitrobenzene、 1,3-Dichloro-4-nitrobenzene
	(日本語名)	2, 4-ジクロロ-1-ニトロベンゼン、2, 4-ジクロロニトロベンゼン、1, 3-ジクロロ-4-ニトロベンゼン

経緯

上記化学物質は、現在、毒物又は劇物に指定されていないが、危険物輸送に関する国連勧告で毒物に分類されており、国立医薬品食品衛生研究所において、急性毒性及び刺激性に関する有害性情報収集を実施したところ、別添の結果が得られた。

用途

高圧用潤滑油の添加剤。加硫促進剤、殺菌剤、植物保護製品及び染料の製造原料、有機合成原料

物理的・化学的性質

別紙 1 を参照

毒性

別紙 2 を参照

事務局案

2, 4-ジクロロ-1-ニトロベンゼン及びこれを含有する製剤については、「劇物」に指定することが適当である。

【別添 1】

物理的・化学的性質（原体）

項目	
名称	(英 語 名) 2,4-Dichloro-1-nitrobenzene (日本語名) 2, 4 - ジクロロ - 1 - ニトロベンゼン
CAS 番号	611-06-3
化学式	C ₆ H ₃ Cl ₂ NO ₂
分子量	192.00
物理化学的性状	
外観	黄色結晶性固体（又は黄色液体）
沸点	258℃
融点	29～31℃ [他データ：34℃]
密度	1.54 g/cm ³ (15℃)
相対蒸気密度	6.6（空気＝1）
蒸気圧	1.0 Pa (=7.5×10 ⁻³ mmHg) (25℃)
溶解性	水：0.2 g/L (25℃) [他データ：0.188 g/L (20℃)]、 オクタノール / 水 分配係数 (log P)：2.9 [他データ：3.1]、 エタノール、エーテルに可溶。
引火性及び発火性	引火点：112℃ [他データ：130℃, 152℃]
安定性・反応性	強酸化剤、強塩基と反応。
換算係数	1 mL/m ³ (1 ppm) = 8.0 mg/m ³ (8 µg/L) [1 気圧, 20℃]
国連(UN)番号	① 1578 (CHLORONITROBENZENES, SOLID) (固体)、 ② 3409 (CHLORONITROBENZENES, LIQUID) (液体)
国連危険物輸送分類	①, ② Class 6.1 (毒物)、Packing group (容器等級) II
EC / Annex I Index 番号	210-248-3 / -
EU-Annex I 分類	未収載
NFPA 分類	Health 1、Flammability 1、Reactivity 0

【別添 2】

毒性（原体）

試験の種類	供試動物等	試験結果	文献
急性経口毒性	ラット	LD ₅₀ : ♂ 379 mg/kg、♀ 385 mg/kg	1
急性経皮毒性	ラット	<u>LD₅₀ : ♀ 921 mg/kg</u>	2
急性吸入毒性	—	知見なし	—
刺激性	ウサギ	皮膚腐食性：なし	3, 4, 5
	ウサギ	眼刺激性：なし	6, 7

文献

1. Bayer AG: Unveroeffentliche Untersuchung (Studiennr. T9000955), 1982.
2. Hoechst AG: Unveroeffentliche Untersuchung (88.0440), 1988.
3. Hoechst AG: Unveroeffentliche Untersuchung (86.0153), 1986.
4. Bayer AG: Unveroeffentliche Untersuchung (Studiennr. T3005918), 1982.
5. Botham, P.A., Rattray, N.J., Walsh, S.T., The, T.H.: Control of the immune response to contact sensitizing chemicals by cutaneous antigen-presenting cells, Br. J. Dermatol., 117, 1-9, 1987.
6. Bayer AG: Unveroeffentliche Untersuchung (Studiennr. T4005919), 1982.
7. Hoechst AG: Unveroeffentliche Untersuchung (86.0214), 1986.